

歴博 暮らしの植物苑だより

第9回日本の植物文化を語る 8月26日(土) 13:30～ 本館講堂 入場無料
『近世の園芸文化—その仕掛け人と作り手』 小笠原亮 (名古屋園芸)

暮らしの植物苑の活動：毎月第4土曜日 13:30～

奇数月 暮らしの植物苑観察会 13:30～ 東屋集合 テーマに基づく講演，苑内案内
偶数月 日本の植物文化を語る 13:30～ 本館講堂 入場無料

暮らしの植物苑ホームページ：苑内の見どころ 毎週更新 歴博ホームページからリンク
暮らしの植物苑だより：トピックスと見どころ 毎週更新

—江戸を咲かす— 『伝統の朝顔』展オープン

江戸時代後期，都市では園芸がブームとなり，変わった葉・花（奇品）を楽しむ文化が生まれました。私たちに親しみのあるアサガオについても，現代のものとは形の異なる「変化朝顔」が愛好されました。歴博暮らしの植物苑では，1999年以降特別企画として『伝統の朝顔』展を続けてきました。アサガオは奈良時代に薬用として，日本に持ち込まれたと考えられています。その花の独特な形と色は中世以降にさまざまな意匠の題材としても取り込まれていったように，人々の関心を集めていったに違いありません。江戸時代の中期には，花の形や色・紋様が多様に変化する変わり咲きのアサガオが注目され始めました。江戸時代，文化・文政，嘉永・安政期に2回のブームがあり，明治期にも1回ブームがあります，今また注目をあびています。あまり，見ることの無かった変化朝顔の世界を御覧下さい。

変化朝顔の名前

変化朝顔には戒名にも似た名前がついています。この命名方法は江戸時代の嘉永・安政期にはすでに確立していました。しかも現代の遺伝学からみても非常に理にかなったもので，当時の人々の朝顔を見る目のするどさには驚かされます。

黄	蝉葉	栗皮茶	丸咲	大輪
葉色	葉型	花色	咲き方	
葉		花		



黄蝉葉栗皮茶丸咲大輪



松島鋏形葉咲分大輪

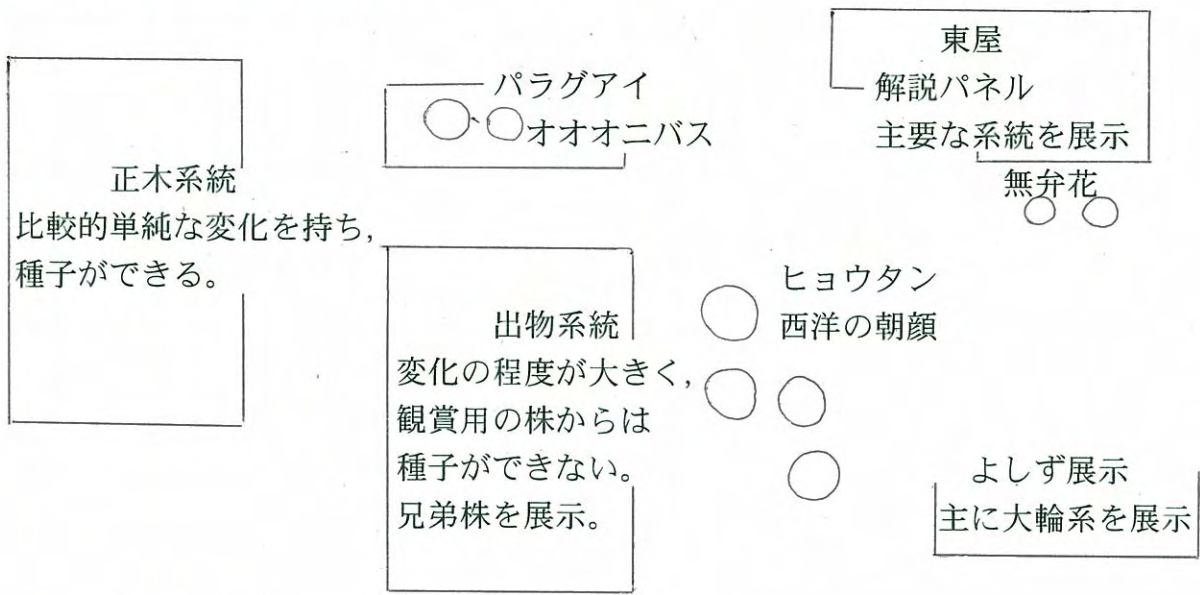


青斑入り蜻蛉枝垂紫丸咲



青水晶斑入堺渦紫色爪覆輪采咲牡丹

朝顔展示場の案内



苑内畑・ハウス作物

コヒメウリ・金俵甜瓜など 10 品種

アワ・ヒエ・キビ・ゴマ
エゴマ・オオボウシバナ
トロロアオイ・アイ・イチビ
ポーマ・ワタなど

ハスなど
○ ○ ○

カボチャ・ニガウリ
ヒョウタン 7 品種

サトイモ・コンニャク
ワタ・食用キク・ウド

ワタ・カラムシ
リュウキュウアイ